

令和元年度第2回墨田区介護保険事業運営協議会サービス部会議事要旨

日時

令和2年2月21日(金) 午後1時30分から午後2時26分まで

場所

墨田区役所12階 121会議室

議事

1 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画の策定について

墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画の策定にかかる策定体制及び策定計画(スケジュール)について、事務局から説明を行った。

(主な質疑)

- ・「墨田区医療連携推進協議会」における在宅医療に関する議論の反映
「関連する会議体であるため、そこでの意見も極力反映していく方向である」旨、事務局から回答した。
- ・「改革の3つの柱」など国の考え方の区計画への反映
「改革の3つの柱の中でも『健康寿命の延伸』『地域特性に応じた介護基盤整備・質の高いケアマネジメント』『人材確保・生産性の向上』など具体的な項目が掲げられており、これらを意識し、区の計画にも強調する形で、事業を検討していく」旨、事務局から回答した。

2 墨田区高齢者福祉総合計画・第8期介護保険事業計画策定に向けた基礎調査の結果概要について

令和元年8月から12月にかけて実施した基礎調査(「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「介護サービス事業所調査」)の結果概要について、事務局から報告を行った。

(主な質疑)

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

- ・回答者の年齢層
「全体的に年齢層が上がっている」旨、事務局から回答した。
- ・ADSL(手段的日常生活動作)や転倒リスク等の改善傾向の要因
「状況が改善している要因について、現在エビデンスがないため、今後分析していく」旨、事務局から回答した。
- ・集計方法の工夫、設問間クロス集計の必要性
調査対象者:「認定なし」と「要支援」による区分
主な介護者:「家族」と「ヘルパー」の二者択一、「同居」と「別居」による区分
「クロス集計は今まさに作業を行っているため、今後お示しできると思う」旨、事務局から回答した。

- ・地域に関与していない方の状況把握、フォロー
「新聞配達、牛乳配達、コンビニエンスストアの方たちにも目を配っていただきながら見守っていくことが必要である。包括支援センターとともに分析し検討していく」旨、事務局から回答した。
- ・高齢者支援総合センターや高齢者みまもり相談室の認知度の地域格差
「2月から3月にかけて各包括支援センターにおいて勉強会を実施するので、この数値等を示し、各自でその要因について考えてもらう予定である。」旨、事務局から回答した。

【介護サービス事業所調査】

- ・「地域密着型通所介護」と「通所介護」の事業所数の対比
「定員18名以下が地域密着型通所介護となっており、地域密着型の方が多い。比較的小規模なデイサービスが増えている」旨、事務局から回答した。

(主な意見)

- ・高齢者支援総合センターや高齢者みまもり相談室の認知度をもう少し上げてほしい。
- ・現在、要介護の認定を受けていなくても治療中の病気を抱えている人は多く、基礎疾患に関する注意喚起や、重症化を予防する方策が重要になってくる。
- ・計画を策定する時、個性が無い、国の指針そのままということが多くもったいない。墨田区の個性、墨田区の強みというものが分かるような計画策定をしてほしい。